

いま、「協同」が創る2012全国集会

人間復興のコミュニティを

～働く・暮らす・つながる命～



「いま、『協同』が創る2012全国集会」が、2012年11月17日～18日、「人間復興のコミュニティを～働く・暮らす・つながる命～」をテーマに、全国協同集会実行委員会の主催により、埼玉県さいたま市(大宮ソニックシティ他)で盛大に開催されました(初日1,375人、2日目1,455人参加)。

16回目を迎えた全国協同集会は、主に埼玉県内で活躍されている協同組合や労働団体、市民活動組織、研究者などに幅広く呼びかけ、全国実行委員会が結成されました。今回の協同集会は国連が定めた「2012年国際協同組合年」にあたり、また、東日本大震災震災および福島第1原発事故後初の開催ということもあって、東北(2012年10月27、28日・岩手県盛岡市)と埼玉での2度の開催となりました。震災の影響も色濃く、これまでの私たちの地域や暮らし、命のあり方を問う集会となりました。各地でのプレ集会や協同祭り、全国協同集会 in 東北を経ての開催となり、また2012年国際協同組合年の認定事業としても位置付けて行いました。

1日目、高齢者協同組合によるファッションショーや福島の若者の踊りでオープニングを華やかに飾りました。来賓挨拶、海外からの連帯挨拶に続き、記念講演、パネルディスカッションを行いました。2日目は、移動分科会も含め20もの分科会を企画し、それぞれのテーマで熱い議論が行われました。

本号は、2013年1月、2月の合併号とし、全国協同集会を特集に組みました。全国各地で協同や連帯の力を広げていくためにも、ぜひご一読ください。

■全国協同集会とは

今回で16回目を迎えた全国協同集会は、日本労働者協同組合連合会、協同総合研究所などが実行委員会の結成を呼びかけ、各地の「協同」を求める団体、個人、人々が一堂に会し、新しい社会をつくろうと1987年に「いま『協同』を問うプレ集会」を開催し、始まった。以来、ほぼ2年ごとに開催している。



当初は、協同組合および「協同」をめざす人々を中心に、新しい社会の展望を学び合う集会としてスタート。「労働者協同組合」が社会に果たし得る可能性を探る取り組みを行ってきた(1987~1992年。協同集会の開催を契機に、1991年3月、協同総合研究所を設立)。

1990年代以降は、会場を全国各地に移し、それぞれの地域で「非営利・協同」を求める多くの人が集い、全体集会や分科会で「地域福祉」、「子育て・教育」、「農林業の再生」、「環境と資源」、「協同の働き方」、「まちおこし・地域づくり」などのテーマを通じた研究・交流集会に発展してきた(1994~2000年)。

2002年は21世紀最初の集会として、はじめて北九州と千葉の2ヵ所開催となり、「千葉集会」では、堂本千葉県知事にご挨拶をいただいた。続く2004年の「ながの集会」には延べ2千人以上の参加者が全国から集まり、田中康夫知事と堀内光子ILO駐日代表の記念対談を行った(2002年~)。

以降、生協や農協の職員・組合員、NPO団体、医療・福祉関係者、労働組合、学生、芸術・文化団体、教員、研究者、自治体職員、マスコミなど幅広い人が「協同」を求めて集い、分かち合い、交流する豊かな集会となっている。

前回の2010年の四国集会では、四国4県に各実行委員会がつくられ、11月に高知県にて全国集会を開催した。「協同を拓くネットワーク」がつくられ、継続的な活動へと展開している。

そして、今回、これまで「協同を拓く」をテーマにしてきたが、「協同が創る」と位置づけ直し開催。埼玉県内各地の協同組合、労働組合、NPO団体、研究者、個人などを中心に実行委員会が結成され、集会後もネットワークづくりが進んでいる。

いま、『協同』が創る2012全国集会 基調 「人間復興のコミュニティを～働く・暮らす・つながる生命～」

○協同が創る「人間復興のコミュニティ」を

私たちは、2012年11月17日、18日に埼玉で「いま、『協同』が創る2012全国集会」を開催します。本集会は、1987年から過去25年間に渡り14回、全国各地で開催してきました。1998年までは、「協同を問う」、以降2010年の四国集会まで「協同を拓く」をテーマに掲げてきました。そして、本集会は「協同が創る」と位置づけました。それは、この時代の大転換期において、「人びとの協同」が新しい社会を創り直すという意味に他なりません。

○東日本大震災と福島第一原発事故が私たちに問いかけるもの

2011年3月11日の東日本大震災により、私たちは多くの人びとのいのちと暮らしを奪われました。地震、津波、そして原子力発電所事故—この巨大複合災害は、自然と人間の共存、人びとの連帯や絆のあり方をあらためて私たちに問いかけています。そして、原子力発電所の破綻は未だ収束しておらず、自然を汚し続け、いのちを危険にさらしています。

○「復興」が意味すること

私たちは、震災前から「無縁社会」と呼ばれ、社会的孤立、格差の広がりや貧困、そして自殺者が毎年3万人を超える社会の中で暮らしていました。また、大量生産は、大量消費と同時に大量廃棄を生み出し、持続可能な地域と社会を次々に崩壊させてきました。

「復興」とは、東北の被災地のことだけでなく日本社会全体の復興であり、震災前の社会に戻すのではなく、その中心は「私たちの未来へ生命をつなぐもの」であると捉えています。それは、現代の市場原理主義、経済成長を第一とする社会から脱却する、人の生き方そのものの復興であり、生命をつなぐための、仕事と暮らしの人間復興のコミュニティの創造です。先人たちが培った地域の歴史、文化、つながり、そして仕事のある「ふるさと」を創る持続可能な社会への転換が、今こそ求められています。

○協同組合と国際協同組合年(IYC)

本集会は、市民が主体の「新しい公共」を創造する新しい働き方である「協同労働」のネットワークや「協同労働の協同組合」の法制化運動も合わせて広げてきました。2012年は国連が定めた国際協同組合年であり、孤立や貧困、失業や社会的排除など、日本が抱える社会的課題に対して、「協同組合」などの協同組織があらためて「社会的事業体」として果たす役割が注目されています。

○社会を変える人びとの協同・連帯を創り出そう

「協同」とは、「思いやりを持って、力を合わせ、助け合って、仕事をする事」です。金融資本主義的なグローバリゼーションに対抗する、持続可能なコミュニティ—地域での仕事や暮らし、新しい生き方—を創り出していくために、この集会で共に話し合い、社会に発信していきたいと思えます。参加する多様な団体、市民が、お互いの「違い」を認め合い、協同・連帯し、共感し、新たな価値を創造する、2日間としていきます。

2012年8月2日

いま、『協同』が創る2012全国集会実行委員会

資料 全国協同集会の歴史(これまでの企画内容)

| 開催日 | 1987/7/25, 26 | 1989/5/20, 21 | 1990/11/10, 11 | 1992/6/27, 28 | 1994/11/26, 27 | 1996/11/23, 24 |
|----------|--|--|--|--|---------------------------------|--|
| 開催地 | 静岡県伊東市 | 東京都杉並区 | 東京都千代田区 | 京都府京都市 | 愛知県名古屋 | 宮城県仙台市 |
| 会場 | 水明荘 | 明治大学泉校舎 | 社会文化会館・全共連ビル | 立命館大学 | 中京大学 | 仙台国際センター/仙台市民会館/宮城県民会館 |
| 集会名 | いま「協同」を問う ブレ集会 | いま「協同」を問う 五月集会 | いま「協同」を問う 11月集会 | いま「協同」を問う '92集会 | いま「協同」を問う '94全国集会 | いま「協同」を問う '96全国集会 |
| HP | | | | | | |
| テーマ | 仕事をおこし、地域をつくり、人を育て、文化を高める | 労働者協同組合・生産者協同組合を現代に開き、地域づくり・仕事おこしのネットワークを創りあげよう | 労働者・生産者協同組合を語り合い地域・文化・教育に協同を | 人類の危機と協同でひらく未来 | 人と地域に役立つ、新しい働き方と協同の仕事おこし | 生命・労働・地域の再生 21世紀の協同へ 東北からの発信 |
| 主催者・来賓挨拶 | | | | | | |
| 記念講演/開談 | | 中西五洲/池上惇(京都大学教授) | | | 【記念講演】宮本憲一(立命館大学) | 【記念講演】井上ひさし |
| 海外報告 | | モンドラゴン協同組合代表報告 | | ファビオ・ファブリ(ローマ大学教授) | | J.パーキンス(AARP) |
| 全体集会 | 【パネル】 橋本吉広(名古屋勤労者市民生協)、 時田祐二(京都音楽センター)、 都筑健(東芝アンベックス)、 永戸祐三(事業団)、 今崎暁巳(ノンフィクション作家) 【コメント】 野原敏雄(中京大教授) | 【パネル1】石井光幸(パラマウント製靴)、 永戸祐三(事業団)、 小林基愛(日生協・事業団)、 戸塚秀夫(東京大学)、 富沢賢治(一橋大学)、 石見尚(日本ルネッサンス研究所) 【パネル2】都筑健(東芝アンベックス)、 菅野正純(事業団)、 大嶋茂男(消費者運動家)、 黒川俊雄(桜美林大学)、 角瀬保雄(法政大学)、 田隆夫(宮崎産業経済大学)、 勝部欣一(日本生協連) | 【シンポ】 庄司興吉(東京大学教授)、 永戸祐三(事業団)、 富沢賢治(一橋大学) | 【シンポ】 寺西俊一(一橋大学教授)、 黒川俊雄(慶応大学名誉教授)、 二宮厚美(大阪外語大学助教授)、 (コーディネーター) 池上惇(京都大学教授) | 【リレートーク】 12人 | 【リレートーク】 8人、 (コーディネーター) 神田健策(弘前大学) |
| 分科会 | | | 労働者協同組合の経営とは | 「環境・まちづくり」人と生物が生き続けられる地球環境、地域環境 | 協同の仕事おこしと経営 | 仕事づくり、地域おこしと協同 |
| | | | ゴミ・資源リサイクル事業への新展開へ | 「地域医療・福祉」誰にもくまるハンディの中で、人間らしく生きられる地域づくり | 高齢者・障害者の協同組合とそれを支える公共と協同のネットワーク | 農と食「村」の再生 |
| | | | 物流ネットワーク形成と新しい労働者像をめざして | 「教育・文化」「心の時代」に考える「自立と協同と愛」の人間像 | 環境を守る製品・エネルギー・システムづくり | 全米退職者協会と高齢者の協同 |
| | | | 労働組合・争議団と労働者協同組合 | 「協同でひらく地域経済」地域経済の主人公は私たち協同人 | 女性たちの仕事おこしと協同 | 福祉コミュニティと協同 |
| | | | 地域づくりと協同のネットワーク(農業) | 「協同組合と事業経営」協同の経営のたくましい発展のために | 子育て・教育の協同と協同組合 | 21世紀の協同を考える |
| | | | 文化・芸術状況を考え「協同」を問う | 「労働組合と協同組合」いま二つの運動の交流と連帯を | 文化の協同と協同組合 | 女性たちの仕事おこしと協同 |
| | | | 教育の再生と「協同」を問う | (労働者協同組合入門講座)新しい生き方・働き方への招待 | 協同でひらく地域経済 | 非営利・協同を考える |
| | | | 高齢者生活協同組合の展開のために | | 新しい働き方と職場・企業をつくりかえる | 教育・労働と人間発達 |
| | | | | | (労働者協同組合入門講座)新しい生き方・働き方への招待 | 環境に責任をもつ仕事おこし |
| | | | | | | 文化と関わった仕事づくりと地域おこし |
| | | | | | | (基礎講座)労働者協同組合・高齢者協同組合への招待 |
| 参加者数 | 220 | 600 | 450 | 600 | 750 | 全体会726、分科会489 |

■資料 全国協同集会の歴史(これまでの企画内容)

| 開催日 | 1998/11/7, 8 | 2000/11/25, 26 | 2002/11/9, 10 | 2002/11/23, 24 | 2004/10/30, 31 | |
|------|---|---|--|---|---|---|
| 開催地 | 広島県広島市 | 東京都小金井市 | 福岡県北九州市 | 千葉県千葉市 | 長野県長野市 | |
| 会場 | 広島女子大学 | 東京学芸大学 | 九州国際大学 | 千葉大学 | 長野市民会館/ JA長野県ビル/長野県勤労者 福祉センター他 | |
| 集会名 | いま「協同」を問う '98全国集会 | いま「協同」を拓く 2000協同集会 | いま「協同」を拓く 2002協同集会 in 九州 | いま「協同」を拓く 2002協同集会 in 千葉 | いま「協同」を拓く 2004全国集会 in ながの | |
| HP | | http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2000/index.html | | http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2002/chiba/chiba_top.htm | http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2004/index.html | |
| テーマ | 21世紀共生社会への提案 人と人とのむすびつき 地域・くらし・仕事の再生へ | 21世紀 協同と共生の時代の 幕をあけよう 人と人をむす ぶ「協同労働」のネットワー クを地域のすみずみに | この日本と世界をどうする！ ～グローバルゼーションに 対抗する地域再生の 新生パワーを求めて～ | この社会をどうする！ ～生命・労働・地域の再生を 担う新しい力を求めて～ | みんなの協同でつこう！ 住みよい時代・地域 ～人らしく生き、暮らし、 働くために～ | |
| 全体集会 | 主催者・ 来賓挨拶 | 吉富啓一郎(広島女子大学教授)、 上川孝明(広島市助役)、 竹本成徳(日本生協連会長) | 中川雄一郎(明治大学教授)、 荒尾禎秀(東京学芸大学副学長) | 石田静男(福岡県高齢協理理事長)、 古川正紀(九州国際大学副学長) | 中川雄一郎(明治大学教授)、 磯野可一(千葉大学学長)、 堂本暁子(千葉県知事) | 松島松翠(JA長野県厚生連佐 久総合病院名誉院長)、 米原俊夫(生協コープながの 理事長) |
| | 記念講演 / 冊談 | 【記念講演】 内橋克人 (経済評論家) | 【記念講演】 石見尚 (日本ルネサンス研究所) | 【記念講演】 佐木隆三(作家) 【特別報告】 堀内光子(ILO駐日代表) | 【基調講演】 大内力(東京大学名誉教授) 【記念講演】 堀内光子(ILO駐日代表) | 【記念対談】田中康夫(長野県知 事)・堀内光子(ILO駐日代表) 【基調講演】寺島実郎(日本総 合研究所理事長) |
| | 海外報告 | C.カッテル (イギリス協同組合協議会) | J.ロバートソン、 G.マクラウド | | | |
| | リカバ ン レ シ ョ ン ポ ジ ト ー ク / ス ム | 【リレートーク】 6人 | 【リレートーク】 6人 | 【リレートーク】 8人 | | 【リレー報告】 3人 |
| 分科会 | 農村の再生と地域づくり | ロバートソン氏を囲んで 21世紀の協同社会を考える | 地域の協同がつくる コミュニティ・ケア | 地域の協同がつくる コミュニティケア | 長野の実践から考える 「地域医療・保健・福祉の連携」 | |
| | 地域経済の再生と 協同のネットワーク | コミュニティケアと 仕事おこし | ケアワークの充実と ケアのネットワーク | 生命(いのち)を育む協同の 力と、未来の子育て ネットワークづくり | 介護保険の行方と 高齢者福祉の未来 | |
| | 女性たちの協同の仕事づくり | 高齢者の社会参加と 福祉の町づくり コミュニティ・ビジネスを つくる企業・商店街 | 食・農の再生と地産地消 | ケアとは何か ～ケアワークの人的発展と ケアのネットワークづくり | 地域に根ざした食と農、 食文化の再生 | |
| | 創り出す平和と協同 | 高齢者・障害者にとっての 豊かな社会を展望して | 商店街活性化と住民参加の まちづくり | 高齢者の仕事おこしと 社会参加 | 住民主体の新しい公共を ～行政との協働 | |
| | 環境と協同 | 若者たちの仕事おこし コミュニティに関わって | 自主経営とワーカーズコープ | 障害者も地域で暮らし続けよう ～今求められているもの | 子育て・教育をみんなの手で | |
| | 公的介護保険と協同のネット ワーク | 労協法ワークショップ | 協同の仕事おこし | 食と農から地域を考えよう～ 地産地消・スローフードと協同 | 若者の仕事づくりと 働き方・生き方 | |
| | 福祉コミュニティの創造と 非営利・協同の ネットワーキング | 働く者の協同組合は どうつくられるか | 若者と仕事 ～新しい働き方を求めて | くらしの協同化と 住民参加のまちづくり | 高齢期を生き生きと | |
| | よく生きることを目指す 教育を「協同」で | 山と森を守る労働をつくる | 大量失業と地域崩壊を克服す る社会制度 ～協同労働の協同組合法とは? | 若者「しごと」文化 ～新しい働き方をもとめて | 障害者の生活・福祉・仕事 | |
| | 文化 ～それは協同労働の枝に咲く | 文化が担う地域社会 | | 女性がつくる地域 ～協同の仕事おこし | 文化が育む人と地域 | |
| | NPOと非営利・協同が創る 市民事業と公共性 | 農の再生と村づくり・ 地域づくり | | 新しい公共性の創造 ～市民が担う公共と行政の役割 | 協同組合と労働組合の 未来を語る | |
| | 21世紀の協同組合をさぐる | 地域の再生と環境の 仕事おこし | | 地球環境を守り育てる、 地域・市民の協同とその連鎖 | 地域の環境を考え、 地域の環境をつくる | |
| | (特別分科会) 高齢者協同組合の広場 | 高齢社会における住環境 | | 大量失業と地域崩壊を 克服する社会制度 ～協同労働の協同組合法とは? | 住民が生み出す、 新しい地域の産業 ～コミュニティビジネス | |
| | | | | | (移動)松本大本営跡地から 見る、21世紀の平和 (移動)長野県「脱タム宣言」 の行方を探る | |
| 参加者数 | 全体会887、分科会594 | 初日267、2日目376 | | 1日目330、2日目426 | 全体集会1,200、分科会900 | |

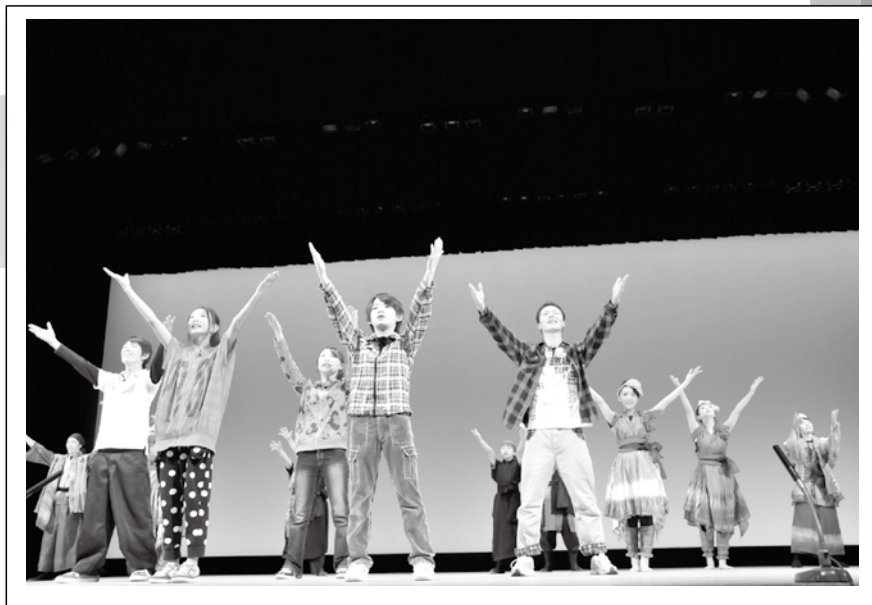
| 開催日 | 2006/11/11, 12 | 2008/11/22, 23 | 2010/11/13, 14 | 2012/10/27, 28 | 2012/11/17, 18 | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|--|---|---|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---|--------------------------------------|--|---|---|
| 開催地 | 兵庫県神戸市 | 新潟県新潟市 | 香川県高松市 | 岩手県盛岡市 | 埼玉県さいたま市 | | | | | | | | | |
| 会場 | 神戸文化ホール/あすてっふKOBE/ 兵庫県私学会館/ラッセホール/ 兵庫勤労会館/神戸市勤労会館 | 新潟市体育館/ 新潟青陵大学 | サンポートホール高松他 | 岩手県公会堂/ 岩手大学他 | 大宮ソニックシティ/ 埼玉大学/大宮法科大学他 | | | | | | | | | |
| 集会名 | いま「協同」を拓く2006 全国集会 in 兵庫 | いま「協同」を拓く2008 全国集会 in 新潟 | いま「協同」を拓く2010 全国集会 in 四国 | いま、「協同」が創る2012 全国集会 in 東北 | いま、「協同」が創る2012 全国集会 in さいたま | | | | | | | | | |
| HP | http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2006/ | http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2008/ | http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/ | http://kyodo2012-tohoku.com/ | http://www.kyodo2012.com/ | | | | | | | | | |
| テーマ | 生命・労働の尊厳を問い、 地域・社会の人的再生を | つながるうみんたで 希望の未来が ここからはじまる | <つながり>を希望の絆に 四国から発信しよう！ ～生命が育ち、「地域」と 「公共」を拓く協同の力～ | 東北が拓く ～きびきおおう！新しい社会～ | 人間復興のコミュニティを ～働く・暮らす・つながる命～ | | | | | | | | | |
| 全体集会 | 主催者・ 来賓挨拶 | 足立明(兵庫県高齢協理事務長)、 齋藤富雄(兵庫県副知事)、 矢立立郎(神戸市長) | 江花和郎(連合新潟会長)、 泉田裕彦(新潟県知事) | 久積育郎(徳島労働協)、 高木孝征(香川県副知事)、 大西秀人(高松市長) | 達増拓也(岩手県知事)、 大内秀明(東北大学名誉教授) | 伊藤藤一(埼玉県生協連代表理事 会長)、塩川修(埼玉県副知 事)、木下達剛(さいたま市副 市長)、上岡恵子(ILO駐日代表)、 遠藤 幸男(労働者福祉東部ブ ロック協議会会長) | | | | | | | | |
| | 記念講演 / 贈談 | 【記念講演】野尻武敏 (神戸大学名誉教授) 【基調講演】神野直彦 (東京大学大学院教授) | 【基調講演】 大江正章 (コモンズ) | 【鼎談】古川康造(丸亀町商店 街振興組合)、 竹下和男(前綾上中学校校長)、 大江正章(コモンズ) | 【記念講演】 星寛治 (たかはた共生塾) | 【記念講演】 水野和夫 (内閣官房内閣審議官、 埼玉大学客員教授) | | | | | | | | |
| | 海外報告 | | | | | 【連帯挨拶】ジョンストン・パー チャル、ジャンロイ・ラヴレル | | | | | | | | |
| | パネル ディスカッション / リレー レポート | 【リレー報告】 5人 | 【パネル1】松原幸夫(新潟大学)、 湯浅誠(反貧困ネットワーク)、 鴨桃代(全国コミュニティ・ユニ オン連合会)、田中羊子(事業団)、 (コーディネーター)、笹森清(中 央労働協会長) 【パネル2】篠田昭(新潟市長)、 福岡浩彦(前我孫子市長)、 大滝聡(NPO都岐沙羅パ ートナーズセンター)、野澤朗(上越 市健康福祉部長)、(コーディネ ーター)永戸祐三(事業団) | 【パネル】森千華(ワーカーズ コープ春日事業所)、菊楽智彦 (春日基金訓練講師)、小澤真 (ワーカーズコープ埼玉就労 支援事業所)、島村博(協同労 働法制度化市民会議副会長)、(コ ーディネーター)永戸祐三(事業 団) | 【パネル】阿部敬一(おらが 大槌夢広場)、渡辺とみ子(か ちゃんの力・プロジェクト)、 村上力男(気仙沼復興商店 街)、田中羊子(ワーカーズコ ープ東北復興本部)、(コメン テーター)山内明美(宮城大学 特任調査研究員)、(コーディネ ーター)永戸祐三(労働連) 【リレー報告】 4人 | 【パネル】内山節(哲学者、立教 大学教授)、金子美登(埼玉県 小川町有機農業者)、吉原毅(城 南信用金庫理事長)、(コ ーディネーター)永戸祐三(労働連) 【東北からの報告】 1人 | | | | | | | | |
| 分科会 | 協同の価値 ～社会的排除・ 社会的孤立の克服 | 協同の価値 ～新しい公共と コミュニティビジネス | 協同の価値～労働の人間化と ディーセント・ワーク | 協同の価値～震災後の検証 真の復興・本物の再生 | 高齢者・団塊の世代の 仲間づくり、仕事おこし | 自分らしく生きること 若者の労働と自立を語り合う 徹底討論～どうする？どうしたい？わたしたちの地域福祉 | 障害者の就労支援と協同労働 | 地域で担う協同の 子育て・教育 | これでもいいか 日本の「食」と「農」 | 文化が育む地域といのち | 緑と環境のまちづくり・ 仕事おこし | 日韓交流～協同の地域づくり・ 仕事おこし・福祉活動 | | |
| | 共生の文化を育む環境の創造 | 輝く未来ある子どもたちへの メッセージ | 地域・生活とますます尊厳ある人間 らしい働き方と協同労働の可能性 | これからの高齢社会像 | 豊かな公共を支え広げる 市民自治 | 子育ての協同から生まれる コミュニティの再生 | 障がい者の仕事おこしと協同 労働の可能性 | 新潟からはじまる 持続可能な まちづくりのネットワーク化 | 結びつきと信頼が育てる食・ 農・生活の人的再生 | 語り合い、話し合い、「真に 創造していく文化」とは | 格差・貧困の克服と社会連帯 | 震災後の検証 | 21世紀の協同組合運動の創造 | |
| | 豊かな「食」「文化」を 育む地域社会 | 地域・生活を支える「共生」 の社会づくり | 4県がつながり拓く「スポーツ」、 「文化」で語る四国の未来像 | 四国で育つ、協同の芽、 「ゆい」の文化 | 地域から市民がつくる 循環型事業と循環型社会 | 高齢者の社会参加～私たちは元 気な高齢社会をどう創るのか～ | 地域づくり！ 都市と農村の連帯 | 私たちがつくる「新しい公共」 | 中山間地・離島で 暮らすということ | 協同での子育て、子育て | 協同でつくる社会をつくる～ 孤立と排除を克服する就労支援と就労政策 | 森・川・海でつながる 四国の未来像 | 私たちの居場所～商店街から 生まれる地域の宝～ | |
| | 被災地発・市民主体の コミュニティ再生と 新しいまちづくり | 福島から命とくらしを考える | 再生可能エネルギーと 仕事おこし | 東北の大地に根ざす新しい 生き方・働き方 | 農と食を中心とした女性たち の仕事おこし・まちづくり | 人間らしく働くための 協同労働の実践 | 子ども・若者会議 ～10年後の未来を描く～ | コミュニティケアと高齢者・障が い者の力をいかに地域づくりへ | 地域で支える子育て、 子育て、親育ち | 地域密着型企業の再生と持続 可能なまちづくり | 東北の暮らしを支える 地域文化 | 社会的排除を超えて 社会連帯へ | ああ東北へ… 都市と農村をつなぐ (被災地ツアー) 大館町 (被災地ツアー) 大船渡市・陸前高田市 | 新しい社会～持続可能なコ ミュニティを「協同」が創る～ 高齢期の社会参加と仕事お こしが、日本社会の未来を創る みんなをつなぐ、地域をつなぐ ～協同による子育て、親育ち～ 原発事故～福島が問う、 私たちの命と暮らし～ (移動)食と環境をめぐる旅～地域 を支える有機農業～(埼玉県小川町) (移動)森と暮らしをめぐる旅 (埼玉県飯能市) (移動)協同から平和を発信する旅～ 丸木美術館～(埼玉県東松山市) (移動)協同の文化が育む まちづくり(埼玉県深谷市) |
| | 現代日本社会における貧困と 不平等を問う！ | 東北被災地から創る 新しい社会 | 社会的排除をこえて～共に働き 共に生きる社会をどう創るか～ | 国際協同組合運動は、連帯経 済の担い手になり得るか～ 東アジアから考える～ | 人間らしい生き方、働き方を地 域から創る協同労働の可能性 | 社会的事業を支えるソーシ ャルファイナンスの可能性 | 支え合いの地域を作るコ ミュニティケア～制度を超えて～ | 再生可能エネルギーは、日本 社会をどう変えるのか | 生きづらさを超えて～新しい働 き方を模索し始めた若者たち～ | 国際協同組合年に日本の協同組 合が問われていること～公共・協同・ 自治で拓く持続可能な社会！～ | 日本の農業・医療・暮らしを考 える～自由貿易協定めぐって～ | 中小企業の社会的役割を考 える～グローバル経済に対抗す る持続可能な地域経済 | 新しい社会～持続可能なコ ミュニティを「協同」が創る～ 高齢期の社会参加と仕事お こしが、日本社会の未来を創る みんなをつなぐ、地域をつなぐ ～協同による子育て、親育ち～ 原発事故～福島が問う、 私たちの命と暮らし～ (移動)食と環境をめぐる旅～地域 を支える有機農業～(埼玉県小川町) (移動)森と暮らしをめぐる旅 (埼玉県飯能市) (移動)協同から平和を発信する旅～ 丸木美術館～(埼玉県東松山市) (移動)協同の文化が育む まちづくり(埼玉県深谷市) | |
| | 全体集会約1,300、分科会977 | 全体集会800、分科会900 | 全体集会1,300、分科会1,100 | 全体集会478、分科会477 | 全体集会1,375、分科会1,455 | | | | | | | | | |

■ ウェルカムイベント



高齢者協同組合の仲間と子どもたちによる古着物をリフォームしたファッションショー(いよよ華やぐ倶楽部)

■ オープニングイベント



福島県南会津から「チーム息吹」が参加。小学校3年～高校3年生までの若者が力強い踊りを披露。復興へ向けた頑張りや元気を全国の仲間に届けてくれた。

■物販



地元、埼玉や東北復興応援物産などさまざまな店舗が並び、ロビーは賑やかに

■懇親会



パレスホテル大宮にて、ゲストの皆さんと交流を深めました